

令和6年10月

参加者各位

長野市立長野中学校長 新津 英人

令和6年度 信濃教育会全県研究大会（総合的な学習の時間）  
開催通知及び実施要項

- 1 期 日 令和6年11月5日（火）  
2 会 場 長野市立長野中学校  
3 共同研究者 国立教育政策研究所 齋藤博伸 先生  
4 日 程

13:00	13:20	13:30	13:50	14:55	15:45	16:30		
受付	開会式	公開授業 説明	移動	公開授業	休憩	授業研究会	全体指導	閉会式
		13:40	14:40	15:35	16:40			

- (1) 開会式 <大会議室>  
進行：成田 剛真（教務主任） 13：20～13：30  
①開式の言葉 千野布美子（副校長）  
②主催者挨拶 原 文章（信濃教育会 事務局次長）  
③共同研究者紹介 新津 英人（学校長）  
④諸連絡 成田 剛真（教務主任）  
⑤閉式の言葉 千野布美子（副校長）
- (2) 公開授業説明 <大会議室> 中村 広登（研究主任） 13：30～13：40
- (3) 公開授業 <F21, 22, 23, 24, E21, 22, 大会議室等> 13：50～14：40  
1 学年『長野市で生きる私』  
2 学年『14歳の問いかけ』  
3 学年『地域に貢献する私』
- (4) 授業研究会 <E21, 22, 23> 14：55～15：35  
①研究協議の進め方説明 中澤 塚尾 白鳥（研究部）  
②授業者への質問  
③協議
- (5) 全体指導 <大会議室> 齋藤 博伸先生（共同研究者） 15：45～16：30
- (6) 閉会式 <大会議室>  
進行：成田 剛真（教務主任） 16：30～16：40  
①開式の言葉 千野布美子（副校長）  
②会場校学校長挨拶 新津 英人（学校長）  
③諸連絡 成田 剛真（教務主任）  
④閉式の言葉 千野布美子（副校長）

- 5 連絡・持ち物 等  
①駐車場は本校北側駐車場をご利用ください。  
②持ち物：上履き、各自必要なもの  
③当日、市立長野高等学校の授業は通常通り行われています。ご配慮をお願いします。

長野市立長野中学校  
担当：副校長 千野布美子  
TEL：026-296-1241

# 長野市立長野中学校 私たちと子どものあゆみ

## (1) 研究テーマ 「問いからはじまる探究学習の在り方」

### (2) 研究テーマ設定の理由～昨年度までの職員の振り返りから～

本校は開校8年目の中高一貫校です。市立長野高校は総合学科ということもあり、開校以後翼プロジェクト（総合的な学習の時間+探究基礎）を中核として、教育課程や授業づくりを行ってきました。翼プロジェクトにおいて私たち教師は、探究のサイクルを意識し、活動を行うなかで生徒に問いをつくるように指示をし、その問いをもとに探究的な学習をしようと試みてきました。しかし、近年「子どもから問いが生まれているのか」「子どもがやりたい活動を進めているが、これで学びになっているのか」「教師の支援やアプローチはこれで良いのか」等、今まで行ってきた指導・支援の在り方に疑問をもち、問い直す声が職員からあがってきました。そこで、昨年度本校の研究テーマを「問いからはじまる探究学習の在り方」と設定し、信教全県大会の学校公開にも手を挙げて、翼プロジェクトや日常の授業づくりを少しずつ見直すことになりました。

### (3) 本校の学校教育目標と総合的な学習の時間の目標

#### ①本校の学校教育目標

高い教養・豊かな心・健やかな身体を持ち、国際的な視野に立って地域の発展に貢献する人材を育成する キーワード：自立・協働・貢献

#### ②学校教育目標へ繋げる行動指標

- 自立 「こうしてみよう」「やってみよう」と見通しを持ってチャレンジする姿  
「もっと知りたい」「深めたい」と感じ、粘り強く考え続ける姿
- 協働 ①自分の「？」を知ろう！  
②自分の「？」を質問しよう！投げかけよう！  
③一緒に「？」を「！」もしよう！（に立ち向かう！）  
④一緒にやったからできたことはなんだろう？
- 貢献 「人」に関心を持ち、その思いを知ろうとしている。  
自分事として捉え、行動しようとしている。

### (4) 各学年の題材・探究課題と目指す資質・能力

各学年の翼プロジェクトで扱う題材・探究課題は以下の通りです。テーマ・題材は例年大きくは変わりませんが、地域の大人との出会いや前年の反省から少しずつ活動は変えてきています。

#### ①1学年 「長野市で生きる私」善光寺ウォークと課題探究学習

1学年では総合的な学習の時間での学び方やものの見方の土台を形成するために、表参道商店街をフィールドとした調査活動や善光寺ウォーク、哲学対話を通して、探究的な学習の基礎を養うことを意識しています。授業公開を行う「善光寺ウォークと課題探究学習」の単元では、長野の留学生を対象に2度の善光寺ウォーク（表参道商店街・善光寺を案内する活動）から、日本や長野の伝統文化やまちづくり等のよさや課題に気づき、探究的な見方・考え方を働かせて単元の目標にある資質・能力の育成を目指しています。

#### 【1学年の単元目標と目指す資質・能力】

外国人留学生と善光寺や表参道商店街を歩き、英語で長野市を紹介することを通して、長野市には世界中の人を魅了するもの・ことがあり、それを担っている人がいることを理解し、外国人留学生の視点にも立ちながら長野市のよさや課題について考えるとともに、長野市民としての自らの生活や行動、今後の学びに生かすことができるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>善光寺や表参道商店街には、外国人等、多くの人を惹きつける魅力的なもの・ことがあり、それらを担っている人たちがいることを理解する。</li> <li>外国人留学生に長野市の魅力を紹介するための調査を、対象に応じた適切な方法で実施する。</li> <li>長野市の魅力や営みに関する理解や外国人留学生との交流による相互理解は、探究的に学習してきた成果であることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>善光寺や表参道商店街で気になることから自ら問いを発意し、その解決に向けて見通しをもって計画を立てることができる。</li> <li>留学生に魅力を発信するという視点で、必要な情報を多様な方法で収集し、蓄積することができる。</li> <li>収集した情報を比較したり、関連付けたりして、情報と情報がどのような関係にあるか、見いだすことができる。</li> <li>調べたことや考察したことをプレゼンテーションソフトなどのツールを用いてまとめ、発表できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な活動を通して、自分自身を理解し、他者の考えを受け入れ、尊重しながら学び合おうとする。</li> <li>自分の学び場である長野市に対して興味や関心を持ち、探究活動に他者と協働し、進んで取り組もうとする。</li> <li>善光寺や表参道商店街の魅力や営みを学び、郷土・長野市に関心を寄せることで、自己の生き方を考え、よりよく生活しようとする。</li> </ul>

## ② 2 学年 「14歳の問いかけ」 大人って何を考えて生きているの？

2 学年では長野市で働く大人へのインタビュー活動や社会体験学習を通して、総合的な学習での学びと自己の生き方を結びつけながら考えることを意識しています。授業公開を行う「自分のこれからの生き方について考える」の単元では、社会体験学習での学びを繋ぎ合わせて考えたり、考えたことを友と共有したりすることで、将来のために今の自分ができることに気づき、単元の目標にある資質・能力の育成を目指しています。

### 【2 学年の単元目標と目指す資質・能力】

身近な大人や長野市で働く大人への調査や社会体験学習を通して、働くことの意味や価値を理解し、働くことの意味や、働く人の思いを自己の将来と関わらせながら考えるとともに、今後の学習や生活の在り方に夢や希望をもって行動できるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>長野市で働く人の思いや願いにふれ、働くことの意味や価値、大人はよりよく生きようとしていることを理解する。</li> <li>目的に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切に収集できる。</li> <li>働くことの意味や考え方の変容は、働く意味や働く人の願いについて探究的に学んだ事による成果であると気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野市で働く人の思いや願いを自分の考えと比較したり友と共有したりしながら、その解決に向けて見通しをもって計画を立てることができる。</li> <li>課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。</li> <li>長野市で働く人の考えにふれ、課題解決に向け、観点に合わせて情報を整理、分類し、考察することができる。</li> <li>相手や目的に応じて、自分で考えたことをわかりやすく発表できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、課題解決に向けて、協働して学び合おうとする。</li> <li>長野市で働く人との関わりを通して、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとする。</li> <li>長野市の企業や専門家との関わりの中で、自己の生き方を考え、自分にできることを見つけようとする。</li> </ul>

## ③ 3 学年 「マイプロジェクト」 地域に貢献する私

3 学年では、地域の課題を知り、地域と関わる活動を通して、自分事として探究的な学習のサイクルをまわしていくことを意識しています。授業公開を行う「地域に貢献する一歩」の単元では、具体的な取り組みを考えるとともに、地域のために自分にできることを考えることで、長野市のよさを大切にしている人や課題を解決しようと人の思いに気づき、単元の目標にある資質・能力の育成を目指しています。

### 【3 学年の単元目標と目指す資質・能力】

長野市をよりよい地域にしようとする活動を通して、長野市のよさを大切にしている人や課題を解決しようとしている人の思いを理解し、自分ごととしてその課題を解決しようと具体的な取り組みを考えるとともに、地域のために自分にできることを行動しようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集する際に「ひと・もの・こと」に出会う中で、長野市に貢献する「人の思い」があることと、それによって地域が良くなっていることを理解する。</li> <li>長野市をよりよい地域にしていくために、自分の興味関心や課題となることについて様々な方法で一次情報に基づいて情報収集をすることができる。</li> <li>地域に貢献したいという意識や行動の変容は、地域のよさや人々の思いについて探究的に学習してきた成果であることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野市をよりよい地域にしていくために、自分の興味や関心、地域の課題となることについて、自ら問いを見出し、問いに対する仮説を立てて検証方法や解決方法を考え、計画を立てることができる。</li> <li>課題の解決に必要な情報を、一次情報、二次情報といった視点に基づいて、効果的な手段を選択して収集し、蓄積することができる。</li> <li>課題解決に向けて、収集した情報を比較したり分類したりして、自分事として解決しようと具体的な取り組みを考えることができる。</li> <li>追究してきたことを相手や目的、状況に応じて、伝える方法を選び、事実と意見を分けて、わかりやすく発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>類似した問いや課題をもった友と自他の意見や考えのよさを生かしながら、課題解決に向け、自他の良さを生かしながら協働して学び合おうとする。</li> <li>長野市のよさや課題に関心をもち、これからの長野市の未来を想像すると共に、自分の意思で目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとする。</li> <li>地域との関わりの中で、自己の生き方を見つめ直し、地域のために自分にできることを行動しようとする。</li> </ul>

### (5) 齋藤博伸調査官の事前研修会より学んだこと

今年度7月に文部科学省の齋藤博伸調査官にご来校いただき、授業参観と職員研修を実施しました。職員研修では齋藤先生から具体的な単元や授業場面を想定していただきながら、以下のご助言（紙面の関係で一部）をいただきました。



#### ① 「入り口は狭く、出口は広く」

「大風呂敷を広げて、子どもがやりたいことなら何をやってもよい」という活動にすると、活動が深まらないことが多くなる。教師の手数も足りないので、必要な支援ができない。授業でやる以上は価値のある学習にするために、1年で言えば、「留学生のために…」3年で言えば「地域貢献につながることは…」等の焦点化し、その目的に向けて生徒がやりたいこと、楽しいことを行えるようにしたい。

#### ② ワークシートはフレームを細かく作らない（作ったとしても強制しない）

学習カードの内容を細かくしない様式にして、書くのが苦手な生徒でも好奇心や探究心を高めたことを書けるようにする。書くことが目的となるのではなく感じたこと、考えたことをまず大事にする。2年で言えば、ゲストティーチャーの話聞いて、考えたことや分かったことを生徒が自由にメモしたり話し合ったりすることで、生徒自身がまとめたり、問いを見い出したりできるようにする。

#### ③ 毎時間めあてに対するまとめをする

この1時間が何のためにあるのか、ゴールに向けて単元の中でどのように位置付けているのかを教師も生徒も自覚的に授業をしたい。そのためには、授業の最初にめあてを確認し、授業の最後（最低2分でも）にめあてに対するまとめをして、必要なら全体計画の修正を行い、次時以降の見通しを持つるようにしたい。

また、一番は地域の素材を活用し、生徒の興味・関心の高まりを想定しながら、生徒がワクワクするような単元をつくることを目指したい。

### (6) 授業改善の道筋 例

#### ① 子どもが「やってみたい」活動から、視点をもって目的に向けた「やってみたい」活動へ

##### (ア) 1学年 善光寺ウォークと課題探究学習の単元の検討

1学年では開校時より翼プロジェクトの一環として、善光寺ウォークを行ってきました（「指導と評価の一体化の学習評価に関する参考資料 中学校 総合的な学習の時間」参照）。

しかし、「長野市を知る」という1学年翼プロジェクトのテーマや総合的な学習の時間として目指す資質・能力の視点から、生徒が外国人に対して英語で善光寺の案内を行うだけでなく、善光寺の伝統文化の価値に加えて善光寺周辺や長野市のまちづくりという視点も含めて、より幅の広い探究活動ができるのではないかと考えました。

そこで、生徒が善光寺周辺を歩いてみつけた魅力や面白さ、疑問点をもとに、第2の探究活動ができないか職員で単元構想を行いました。そして、今年度1回目の善光寺ウォークの後に生徒の興味・関心に基づいて「善光寺」「まちづくり」「外国人観光客」「名物」の4講座を開設し、課題探究活動を行いました。それぞれ生徒の疑問や興味から活動が始まったことで、生徒が「やってみよう」活動となりましたが（例「おやきをつくってみよう」「善光寺の歴史を調べよう」等）、活動自体の深まりや今後の展開に教師は日々迷いながら指導をしていました。そして、2回目の善光寺ウォークでは、1回目の反省点や改善点を踏まえて、留学生へアップデートした案内ができましたが、善光寺ウォーク後の留学生との会話やインタビューのなかで、留学生にとっての長野市の魅力や課題があることが見えてきました。そこで1学年職員で再度授業構想を行い、齋藤調査官からの助言をもとに「外国人との共生とまちづくり」という課題に焦点化することにしました。現在は課題探究学習②として、生徒はそれらの魅力や課題から問いを設定し、今後さらに増えるであろう留学生や外国人と共生する長野市のまちづくりや外国人にとって過ごしやすい地域の在り方を考えようとしているところです。



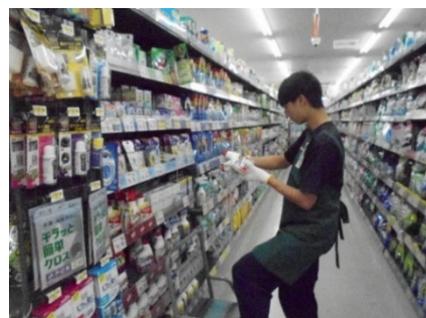
11月5日の授業では、外国人との共生について、より具体的に活動の場面をみていただく予定です。

#### (イ) 2学年 「14歳の問いかけ」の一場面より

2学年の翼プロジェクトでは、本校でも社会体験学習を行っており、例年「働く」をテーマにして設定した問いを解決するために、長野市で働く大人の講演を聴く機会をつくったり、長野市内の職場リストから自分が体験してみたい職種を選択して、社会体験学習を行ったりしてきました。

2学年の職員は、一過性の行事（イベント）になりやすい講演会や社会体験学習を、生徒の疑問や問いを解決するための一つの手段とし、「働く」ということをより広い視野で生徒の願いに基づいて生徒が主体的に学習できるようにしたいという願いがありました。

そこで、今年度は生徒一人ひとりが設定した問いを解決するためにインタビューしてみたい地域の大人を選択して対話をする機会をつくるとともに、体験してみたい職場を生徒自らが1から探して調べ、自らアポを取り、体験を行って問いを解決していくという活動を行ってきました。



例えばU生は年度当初に「働く」をテーマにしたマインドマップから、「大人は何のために働いているのか?」という問いを設定しました。そして、両親や身近な地域で働いている大人（接客業や建築業の方々）へのインタビューから、「機械化、AI化する中で働く人はどのように適応しているのか、またやりがいは何か?」と考えました。そこで、接客業と製造業という違う業種で比較してみたいと願い、実際に両方の社会体験でインタビューをしたり実際に働いてみたりすることで、「セルフレジ等機械化で多くの人にとって便利になる一方で、コストがかかり、お年寄りにとっては買うときは対面の方が良いし、働く時も単純作業の方が良い。多面的にみられる

ようになって、視点が広がった。また、人と接するお店の仕事でも、物と接する工場の仕事でもやりがいがあり、どちらも人や自分が笑顔でうれしくなれることがわかった」と振り返っています。U生は問いを持ち、体験をすることで勤労観を深め、広い立場や視点から「働く」ことや生きることを考えることができてきました。

1月5日には社会体験活動を終えた生徒達が、問いに立ち返ったり、年度当初に作成したマインドマップを再構成することで、自分の「働く」に関する認識を広げたり、自分とのつながりを自覚していったりする時間をみていただく予定です。

## ②「マイプロジェクト 地域貢献活動」の方向性の転換

3学年の「マイプロジェクト」は開校以来続けてきた3学年の翼プロジェクトです。1・2年で学んだ学び方や題材、知識・技能、思考・判断・表現力をもとに、自分で題材と問いを設定し、自分で活動を進めていく学習です。本校の高等学校でも翼プロジェクトで、高校1・2年次に自分でテーマを設定し探究する活動を進めていくため、それに繋げる意味合いもあります。

しかし、このマイプロジェクトは生徒が自身の興味・関心に基づいて自由に問いや活動を進められる反面、学年70人いれば70通りの活動が生まれ、個々の生徒の学びを学年職員の教師が把握し、適切なタイミングに適切な助言や支援をすることに難しさを感じていました。それゆえ「何をしたらいいかわからない」と、課題設定や見直しをもって活動を進めることに難しさを感じる生徒がいたり、探究のサイクルを教師が示してはいるが「深まっているのかわからない」「これからどうすればいいかわからない」と感じる生徒がいたりすることもあり、課題になっていました。



そこで、今年度は齋藤調査官のご助言も踏まえて、以下の視点で授業改善、単元の再構成を行いました。

- ・教師が生徒のファシリテーターとなり、助言や支援ができるように、3学年の職員数である4つのチームを構成する。
- ・各講座でできるだけ「ひと・もの・こと」との出会い等の共通体験となる場を設定し、チームで探究活動ができる部分をつくる。
- ・生徒達に自分たちの活動が「地域貢献」に繋がっているか問い返す等、活動の意味や方向性を確認しながら、教師も一緒に考える。

1月5日の授業では年度途中ながらできるだけ「深められる」探究、学校教育目標にある「地域貢献」に近づくように、授業や単元の再構成をしている「過程」をみていただく予定です。

### 【3学年マイプロジェクト 講座と主な探究活動】

チーム	探究活動例
地域の子ども・ 伝統行事・育成会	【チームで追究】 徳間地区の育成会の会長さんからの依頼で、11月30日（土）に開催するレクレーションの企画・運営を進めている。
まちづくり	【チーム内の追究の例】 三才駅前に子どもの居場所を作る活動をしている井出さんと一緒に学生サロンを盛り上げる。
食・農業・動物	【チームで追究】 長野市にある地域食材の価値を身近な人に伝え、広めていく。
オリジナル	【個人追究の例】 スキーの魅力を身近な人に伝え、広めていく。

# 1学年 翼プロジェクトの構想と子どもの学び

吹き出しは、活動に対する生徒の学びの姿（振り返り等）です

## 課題設定

「善光寺ウォーク②までの活動を通して、出会った長野市に関わる新たな『?』について、探究しよう」  
 ・事後アンケートから、外国人留学生の視点で長野市のよさや課題を見直す。そこから気になったこと（新たな興味や疑問など）を集約する。  
 ・集約されたことからもとに、いくつかの課題を設定する。（個人でも問いを設定？）  
 ・見直しをもって計画を立てる。

自

## まとめ・表現

・グループごとに成果物をまとめる。  
 ・2月の全校発表会で、探究活動の成果と課題、新たな問いなどを発表する。  
 ・全校生徒や保護者、地域の方、留学生に学びを発信する。

## 課題探究② (10月～)

## 情報の収集

・課題の種別に応じて探究グループ（実践コミュニティ）を組織する。  
 ・グループごとに、共通のテーマを形成し、活動の目的を共有する。  
 ・グループの課題解決に向けて、現地調査やインタビュー、イベントの開催など多様な方法で、情報収集を行う。

自

本時

協

## 整理・分析

・グループごとに、調査結果を整理し、分析する。必要に応じて、思考ツールなどを用いる。

協

## 課題設定

「グループ探究で得た知識や経験を生かして、留学生に、善光寺や表参道商店街、長野市を英語で案内しよう」  
 「留学生に、1回目よりも善光寺や表参道商店街、長野市の魅力を伝えるにはどうすればいいかな？」

自

【漬物老舗高橋さんに電話で交渉】  
 ・グループ探究で知った善光寺の漬物を留学生に紹介したい→おにぎり持参でコースに入れる。

## 情報の収集

・班ごとに、ツアーのテーマを設定する。  
 ・案内したいもの、ことなどを決める。  
 ・班ごとに留学生を案内しながら、グループ探究で得た知識や疑問などについて意見交換できるように、ツアープランを立てる。  
 ・題材を英語に翻訳する。  
 ・実際に、留学生と出会い、善光寺や表参道商店街を英語で案内し、交流する。  
 ・留学生に、アンケートを実施し、善光寺ウォーク①、②を通しての感想などをさく。

協

## 善光寺ウォーク② (9月～10月)

## 整理・分析

・班ごとに、善光寺ウォークにおける成果と課題を整理、分析する。  
 ・うまくいったこと、いかなかったことを明らかにする。  
 ・留学生へのアンケート結果を翻訳し、分析する。

協

## 課題設定

「善光寺ウォークを通して、見つけた新たな『?』について、探究しよう」  
 ・生徒一人一人が立てた「問い」を全員で共有する。

自

## 情報の収集

・留学生から善光寺ウォーク楽しんでくれたと感想をもらえた。  
 ・長野市の良さや課題も聞けた。

協

○生はまちづくり班所属  
 ・「地域の活性化」をテーマに、仲間とともに活性化するためにはどうすればよいか、インタビュー活動で調査。  
 ・夏休みに、善光寺・仲見世通りを訪れて、情報を収集。  
 ①流屋本店さん、②両宮仏具店さん、③漬物老舗高橋さんの3店舗へ。  
 ・お土産の文化が...と困っているお店の人と出会った。  
 ・活性化が難しい現実も知った。  
 ・漬物は外国人観光客にも人気があることを知った。

## 課題探究① (7月～8月)

**整理・分析・まとめ**  
 ・グループごとに、調査結果を分析する。  
 ・活動の成果を、パワーポイントやポスターなどにまとめる。  
 ・学年内で、グループ探究の成果を発表し、共有する。  
 ・発表会を通して、善光寺ウォーク②に生かせそうな知識等を得る。

自

## 情報の収集

・生徒の新たな興味や疑問を集約して、題材ごとにグループビंगして、探究グループを組織する。  
 ・「善光寺」「まちづくり」「長野名物」「観光」、4つのグループごとにテーマを形成し、活動の目的を共有する。  
 ・グループや個人の問いの解決に向けて、グループによる協働的な学びを行う。  
 ・情報収集や現地調査、インタビュー活動等を行う。

協

## 課題設定

「外国の方（留学生）に、善光寺や表参道商店街を英語で案内しよう」  
 「留学生と長野市の魅力を味わうにはどうすればいいのかな？」

自

○生  
 留学生は、日本の中学生と交流して、長野の文化を学びたいと思っているのではないだろうか。

## 善光寺ウォーク① (5月～6月)

## 整理・分析

・班ごとに、善光寺ウォークにおける成果と課題を整理、分析する。  
 ・うまくいったこと、いかなかったこと、次改善したいことを明らかにする。  
 班ごとにふりかえり①→全体でふりかえり②

協

## 情報の収集

・表参道商店街や善光寺について、紹介したいものをインターネットなどで調べる。  
 ・現地に赴き、善光寺や表参道商店街の現況を調査する。  
 ・班ごとに留学生を案内するためのツアープランを立てる。  
 ・紹介することなどの題材を英語に翻訳する。  
 ・実際に、留学生と出会い、善光寺や表参道商店街を英語で案内する。  
 インターネット上で下調べ→現地の下見調査→探究英語で準備→善光寺ウォーク①本番

協

○生（下見調査後）  
 ・さらに紹介したいものが見つかった。  
 わかりやすく外国の方に伝えたい。  
 ・実際に巡る順番が確認できた。



○生  
 ・前回上手く紹介できなかったところを英語で紹介することができたし、以前よりも会話が盛り上がって仲良くなった。  
 ・グループ探究で調べた漬物や日本の文化を紹介できてよかった。  
 ・留学生にとって、長野市には自然や治安の良さがあるけど、住みにくさも感じていることがわかった。

○生  
 「善光寺周辺の隠れ家スポットはどこにあるのか？」  
 表参道の裏道などに入って、善光寺につながる建物などを調べたい。

○生  
 善光寺ウォーク②で、漬物と仏具を紹介して活性化を目指そうと思う。  
 【他グループの発表をきいて】  
 お坊さんの髻の毛や外国人の好みのおやきに興味を示す。

自

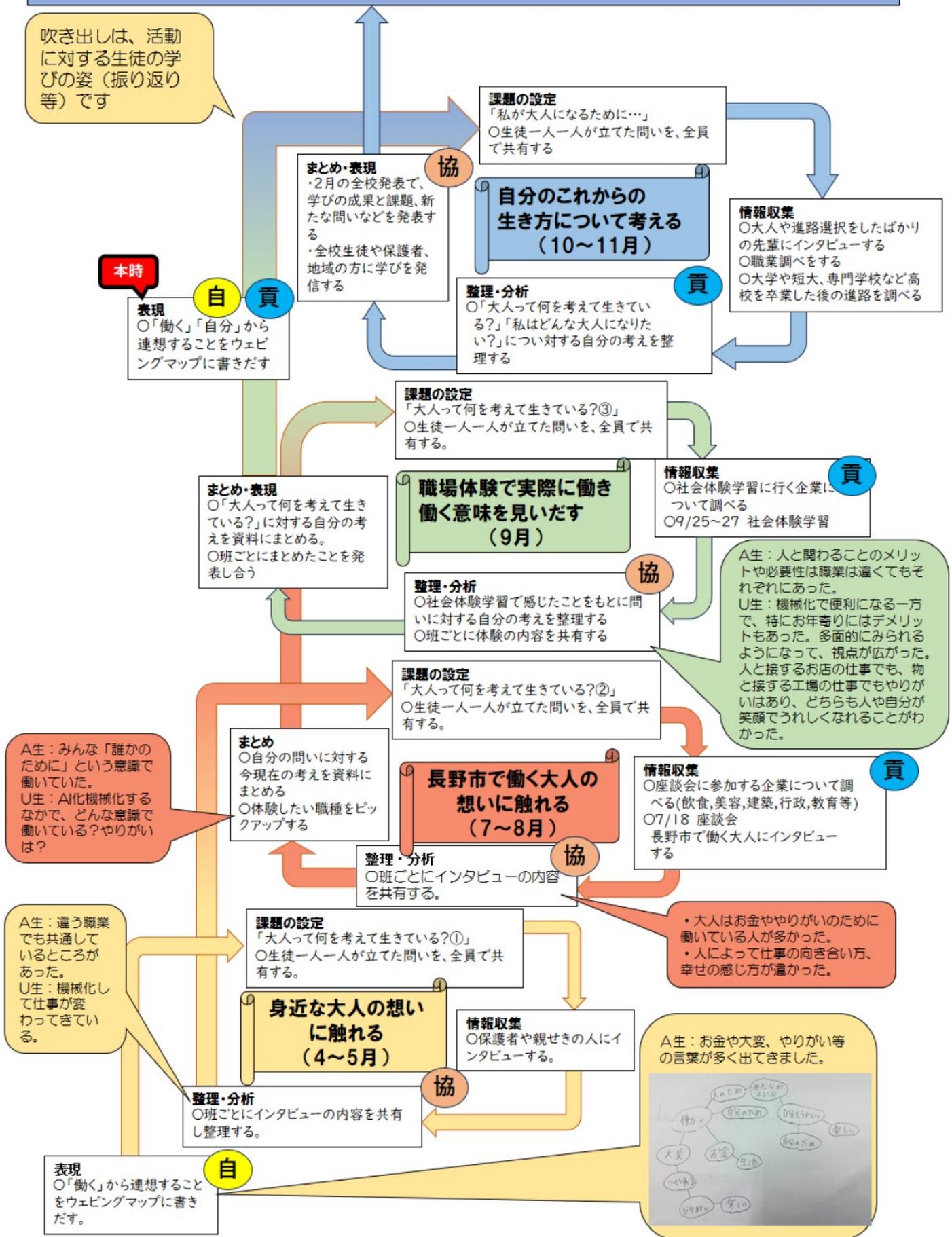
○生  
 英語力を高めたいし、もっと長野の魅力を伝えたい。

自

○生  
 ・みんな楽しめた！留学生も。  
 ・英語を中心に話すことができなかった。  
 ・最初はシーン…が多かった。次は雑談ネタを増やしたい。  
 ・次回は沢山の場所を回りたい。私たちがリードしたい。

# 2学年 翼プロジェクトの構想・子どもの学び

吹き出しは、活動に対する生徒の学びの姿（振り返り等）です



# 3学年 翼プロジェクトの構想・子どもの学び

黄・赤・緑色の吹き出しは、活動に対する生徒の学びの姿（振り返り等）です

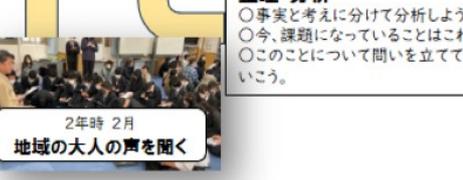
T生④【まちづくりチームでの交流後】  
M生の三才駅の活性化の活動の話聞いて視点を変えた  
長野駅では規模が小さすぎるため三才駅に視点を改めてみる。実際に、井出さんの活動を見に行ってみよう。今日三才駅の駅前会館の方にお邪魔させていただきました。ラーメンも人数分用意していただけてお菓子もいただきました。現在、市から助成金がでているらしいです。毎週水曜日に学生が20人ほどが入れるスペースを展開するなど様々なお話をお聞きしました。Mさんや他のメンバーの子たちも「まだ来たいね」などと話をしました。



T生③【8月23日夏休みにマイプロ発表会】  
自分たちでできることに目を向け始めたパンフレットを作ろうかという考えもあったが、夏休み中に活動をできなかったT生。長野駅は規模が小さすぎてどうにもならないから長野駅周辺での新開発してるところに興味を持ってみようかなと思った。そこからなんか長野駅に繋がれることがあったらやってみよう。

T生①【テーマとその理由】  
長野駅周辺の活性化  
他の国籍の人が観光で来たときに日本語ばかりで困ってしまうのではないかなと思ったから。また、幼児や高齢者などが安心安全に使えるようにしたい。自分たちは近くに遊んだりする施設が少ないからそろそろ施設が長野駅周辺にあったらいいなと思った。

まとめ・表現  
○私が今できること  
○夏休みにはここに行って探究してみたい。  
○これまで活動してきたことを友達に伝えよう



2年時 2月 地域の大人の声を聞く



3 学年 マイプロジェクト「地域に貢献する一歩」チーム探究 単元展開

①～⑭は時数を示す

チーム名	子ども・育成会・伝統行事 メンバー10名	
チーム共通の願い	地域で過ごす子どもたちに楽しめる場所や行事を広めたり、地域の人と関わって、地域の行事に参加する人を増やしたりしたい。	
学びの足跡と目指すゴール  ◆ねらい	課題設定	① これまでに会った人の地域に貢献する思いを整理し、共有しよう。 ◆ 地域に貢献する思いに気づき、その思いに対する自分の考えをもつことができる。
	情報収集 & 整理分析	②～⑫「徳間育成会」のレクリエーションの活動を考えよう。(本時) ◆ 育成会の会長さんからもらった情報を元に友と協働しながら、11月30日のレクリエーションの計画を考えることができる。
	まとめ表現	⑬⑭ 私たちが考え、実行した「私たちの地域貢献」を高校生や大人に紹介し、アドバイスをもらう。

チーム名	まちづくり メンバー36人	
チーム共通の願い	私たちの住む長野市をよりよくしようと考え、行動している人の思いやまちの事実から、私たちなりの課題解決をしていきたい。	
学びの足跡と目指すゴール  ◆ねらい	課題設定	① これまでに会った人の地域に貢献する思いを整理し、共有しよう。 ◆ 地域に貢献する思いに気づき、その思いに対する自分の考えをもつことができる。
		②③ チームを立ち上げて、これからの活動を考えよう。 ◆ 友と協働しながら、私たちができる貢献への一歩を考えることができる。
		④～⑥ チームのミッションシートを作り、活動の計画を立てる。 ◆ 「ビジョン」や「貢献につながる活動」「出会いたいひと・もの・こと」についてチームで協働しながら、考えることができる。
	情報収集	⑦⑧⑨ 「ひと・もの・こと」に出会って私たちにできる貢献を考えるために情報を集めよう。 ◆ 人の思いにふれ、私たちにできることに気づくことができる。
	整理分析	⑩⑪⑫ 私たちにできる貢献を考えよう。(本時) ◆ 友と協働しながら、具体的にチームの計画を立てたり、実行したりすることができる。
まとめ表現	⑬⑭ 私たちが考える「私たちの地域貢献」を高校生や大人に紹介し、アドバイスをもらう。	

チーム名	食・農業・動物 メンバー14人	
チーム共通の願い	地域食材（長野市の食べ物）を若い人たちに身近に感じてもらいたい。	
学びの足跡と目指すゴール ◆ねらい	課題設定	<p>① これまでに会った人の地域に貢献する思いを整理し、共有しよう。 ◆ 地域に貢献する思いに気づき、その思いに対する自分の考えをもつことができる。</p> <p>②③ チームを立ち上げて、これからの活動を考えよう。 ◆ 友と協働しながら、自分たちなりにできる貢献への一歩を考えることができる。</p> <p>④～⑥ チームのミッションシートを作り、活動の計画を立てる。 ◆ 「ビジョン」や「貢献につながる活動」「出会いたいひと・もの・こと」についてチームで協働しながら、考えることができる。</p>
	情報収集	<p>⑦⑧⑨ ふるふるの岡田さんやスーパーあらいの荒井さんに会い、私たちにできる貢献を考えるために情報を集めよう。 ◆ 地域食材を扱っているお店の人の思いにふれ、私たちにできることに気づくことができる。</p>
	整理分析	<p>⑩⑪⑫ 私たちにできる貢献を考えよう。(本時) ◆ 友と協働しながら、具体的にチームの計画を立てたり、実行したりすることができる。</p>
	まとめ表現	⑬⑭ 私たちが考える「私たちの地域貢献」を高校生や大人に紹介し、アドバイスをもらう。

チーム名	オリジナル メンバー10人	
チーム共通の願い	自分が興味を持った長野市のこと、もの、伝統などを、身の回りに広めたり、伝えたりすることで、地域へ貢献していきたい。	
学びの足跡と目指すゴール ◆ねらい	課題設定	<p>① これまでに会った「ひと・もの・こと」の地域に貢献する思いを整理し、共有しよう。 ◆ 地域に貢献する思いに気づき、その思いに対する自分の考えをもつことができる。 ◆ 自分が興味のある長野市も「ひと・もの・こと」について、自分の考えを持つことができる。</p> <p>②③ チームや個人で、これからの活動を考えよう。 ◆ 友と協働しながら、自分たちなりにできる貢献への一歩を考えることができる。 ◆ 自分の興味があることと、貢献へのつながりが何かを考えることができる。</p> <p>④～⑥ チームのミッションシートを作り、活動の計画を立てる。 ◆ 「ビジョン」や「貢献につながる活動」「出会いたいひと・もの・こと」についてチームや個人で、考えることができる。</p>
	情報収集	<p>⑦⑧⑨ 自分の問いにかかわりのある身の回りの人に出会って私たちにできる貢献を考えるために情報を集めよう。 ◆ 人の思いにふれ、私たちがやりたいことと関連付けて貢献への一歩を考えることができる。</p>
	整理分析	<p>⑩⑪⑫ 私たちにできる貢献を考えよう。(本時) ◆ 友と協働しながら、具体的にチームの計画を立てたり、実行したりすることができる。</p>
	まとめ表現	⑬⑭ 私たちが考える「私たちの地域貢献」を高校生や大人に紹介し、アドバイスをもらう。

# 長野市立長野中学校の駐車場

※校舎北側の駐車場をご利用ください。

